

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.27

2004. 4. 30発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2 - 2511

6,500万円減の予算を可決 — 2

どう使われる一般会計 — 3

議員報酬カット — 4

修正案を否決 — 5

土木費54%カット — 6

農業公社設立の町を視察 — 7

8 議員町の姿勢をたず — 8

— ハイサイ — みなさん — 16



おねえさんありがとう

2,300万円

9,090万円

国民健康保険、病院、簡易水道
集落排水、住宅新築資金、老人保健
介護保険

3月定例会

一般会計予算の主なもの

		前年対比
総務費	7億7,490万円	▲1.1%
民生費	4億9,810万円	1.5%
衛生費	2億5,470万円	▲1.3%
農林水産業費	3億3,490万円	26.3%
土木費	1億1,140万円	▲54%
教育費	2億5,940万円	▲4.8%
公債費	8億5,750万円	1.5%

平成15年度 一般会計補正予算

6,379万円追加

総額 35億5,294万4千円

主な補正

- ・ 財政調整基金積立金 1億5千万円
- ・ 生小プール補修費 ▲591万2千円
(工事内容変更に伴い)
- ・ 町単道路改良費 ▲4,500万円
- ・ 営農指導員謝金 ▲156万円
(補充しなかったため)

三月定例会は、十日から二十五日までの十六日間開かれ、補正予算、十六年度各会計予算や、議員提出による委員会条例の改正などを審議し、全員一致で可決しました。

一般質問には八議員が登壇し、厳しい町財政や、上勝町との合併勉強会の不調問題などについて活発な議論が行われました。

六千五百万円減の 十六年度予算を可決



横瀬小学校耐震診断に639万7千円

一般会計 32億

特別会計 30億

議員提出議案

議会委員会条例の一部改正

議員定数の削減に伴い、現在の総務、産業建設、厚生
の三常任委員会を二委員会にしました。

・総務産業常任委員会 (六人)

総務、財務、産業経済
建設に関する事項

・文教厚生常任委員会 (六人)

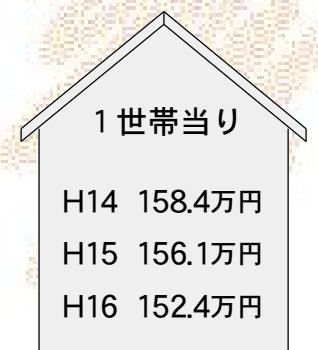
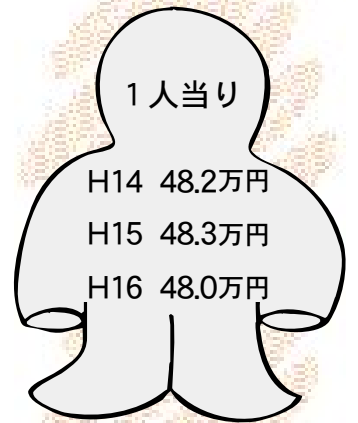
文教、厚生、国保、病院
事業に関する事項

**地方交付税の
大幅削減の中止を
求める意見書**

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、県選
出国会議員

どう使われる一般会計

**一般会計予算
の推移**



一人あたりの予算は

()内は前年度

<p>総務費</p> <p>115,438円 (115,218円)</p>	<p>民生費</p> <p>74,260円 (72,103円)</p>	<p>衛生費</p> <p>37,971円 (37,933円)</p>	<p>農林水産業費</p> <p>49,927円 (38,969円)</p>
<p>土木費</p> <p>16,610円 (35,604円)</p>	<p>消防費</p> <p>6,402円 (5,597円)</p>	<p>教育費</p> <p>38,683円 (40,060円)</p>	<p>災害復旧費</p> <p>1,878円 (1,980円)</p>
<p>議会費</p> <p>7,468円 (8,464円)</p>	<p>商工費</p> <p>1,966円 (1,239円)</p>	<p>公債費</p> <p>127,832円 (124,170円)</p>	<p>予備費</p> <p>1,937円 (1,911円)</p>

合計 480,471円 (483,000円)

質 疑

軍人恩給欠格者連盟補助金など 廃止しては

問

活動内容が不透明な団体に対する補助金は廃止すべきだ。

答

助役 活動内容や収支等を十分精査して対応したい。

図書館職員を一人削減

問

予算では三人分の給与を計上しながら、一人削減するのは納得できない。住民サービスの低下につながらないか。

答

町長 住民サービスに支障をきたさないようやっていきたい。



職員削減でサービス低下の恐れ

条 例 改 正

◎議員報酬をカット

交付税の大幅な削減で財政も一段と厳しさを増す中、議員定数も十二人に削減しているが、報酬も昨年の一律四千円引き下げの上に議長、副議長十％、議員五％をカットすることにしました。

◎勝浦町法定外公共物管理条例

内容 赤線、青線を占有する場合は、申請書を提出し、町長の許可を受けなければならない。

◎勝浦町子育て交流センター設置および管理に関する条例

内容 沼江保育所跡で子育て家庭の支援や児童の健全育成を図るため

◎特別職で常勤の給与および旅費に関する条例

内容	月額	町長	十三万八千円
	助役		十一万一千円
	収入役、教育長		十万四千円

をカット

◎勝浦町公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例

内容 町の施設管理を民間に委託するため

などの条例が可決されました。

主な

「ふれあいの里さかもと」 町費でバス購入は約束違反では

問

県から十五万円で払い下げになったバスを「ふれあいの里さかもと」の送迎用に使用すると言うが、町からの支出は水道光熱費だけのはずであった。町費を出すのは約束違反ではないか。

答

町長 県の条例で、自治体でなければ払い下げできない。費用負担は「ふれあいの里さかもと」です。もうようようにする。

病院の外壁塗装を

問

国保会計には積立金もあり、その上予備費として一億円を計上している。病院の外壁塗装に充当できないか。

答

税務課長 できるだけ協力していきたいと思っています。

介護保険料の滞納 国の動向を見た上で

問

介護保険料の改定により滞納者が増えてきていると聞くが、低所得者に対してきめ細かな施策が必要ではないか。

答

福祉課長 国は十六年度に低所得者の減額等についても検討している。国の動向を見極め、町も対応していきたい。

修正動議

井出議員から同和对策関係の負担金、補助金百五十六万三千円を予備費に組み替える修正案が提出されました。

修正に反対 大西、国清議員

町独自の負担金などであれば全額削減できるが、他町村との関係もあり、支出はやむを得ない。

修正に賛成 原田議員

地対財特法も切れ、全額削減すべきだ。

採決の結果

賛成二人、反対八人で修正案は否決されました。

町道、二路線を認定

石原中央線、石原萩の谷線

勝浦町監査委員に

栗城 宏氏(中山)の選任に同意

勝浦町選挙管理委員会委員当選者

委員に

市原宏之氏
勝谷克己氏
花房恒夫氏
中川進夫氏

補充員に

東 君夫氏
中井 修氏
遠藤智美氏
野神美枝子氏

総務

十六年度予算

土木費五十四% カット

三月四日、五日、委員会を開き十五年補正予算と、十六年度当初予算などの説明があり、審議しました。

総務課長から 十六年度予算は昨年対比約二%（六千五百万円）の減であり、農業予算を増額、土木費は大幅にカットしたと説明がありました。

問 病院への繰出金は約一億円で七千万円が償還金、三千万円が運営費と多いが。

答 総務課長 繰出しはやむを得ない。県下的に見れば健全運営の方であるが今後、厳しい改革をしていかなければならない。

公の施設の管理は

問 町施設の管理者の指定は、どのような団体や組織に認めるのか。また、委託する施設は。

答 総務課長 NPO法人、JA、社協、商工会等である。施設は改善センター、婦人の家、体育館、坂小跡などである。



施設の管理を民間委託

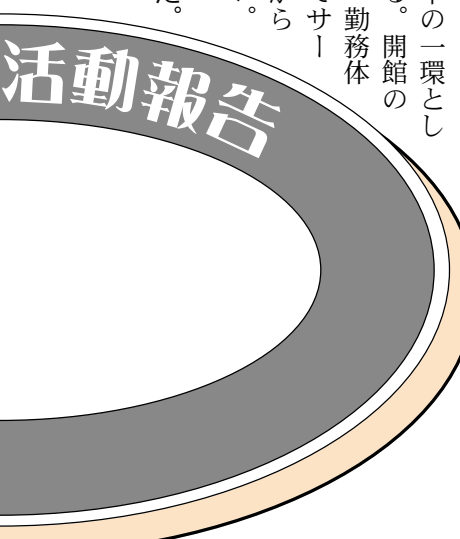
問 申請が多数の場合どのようにして決めるのか。

答 総務課長 書類や実態の調査を行い、理事者で選定し議会の議決により決定する。

図書館員二人に

問 現在の三人を二人体制にするとしているが、来館者に対応できるのか。

答 助役 行革の一環として実施する。開館の時間を遅らす等、勤務体制の見直しをしてサービステータスにしながら提案を認めました。



各種団体補助金 活動内容を精査し支給を

三月三日、委員会を開き、三月定例会に提案予定の平成十五年補正予算、十六年度予算、条例改正などについて審議しました。

福祉課長から 十五年補正予算と、十六年度当初予算および条例改正について説明がありました。

問 補助金を出している団体の活動状況を調査し、見直すべきだと指摘してあったのにできていない。活動していない団体の補助金は打ち切るべきだ。

答 福祉課長 活動内容を精査して執行するので予算計上は認めて欲しい。

委員会として 本会議に修正案提出の可能性もあるとの意見が出て、本会議までに調整することになりました。

税務課長から 説明があり

問 生活習慣病 検診の計画は。

答 税務課長 人間ドック 五十人、脳ドック 五十人、腫瘍マーカー五十人である。委員会として了承しました。



清潔感も重要

病院事務局長から 説明がない。どうしてか。

答 町長 予算をつけても見直し、チェックしながら執行する。

委員会として 了承しました。

住民課長から 説明があり 統計調査など各種調査員の選考は何を基準にしているのか。また、同じ金を出すのなら指導部長などにしてもらったらどうか。

答 住民課長 別に基準はないので検討したい。委員会として 了承しました。

産業建設

地籍調査

職員2人に対応



地籍調査は2人に対応

町施設の管理 団体に委託

三月一日に委員会を開き、十五年度補正予算と十六年度予算や条例改正などについて審議しました。また、町道認定については、現地踏査をしました。

建設課長から 補正予算と当初予算について説明がありました。

問 土木費などが、九千二百五十万円減となった要因は何か。

答 建設課長 制約があり、起債ができなかったためである。

問 地籍調査には新しい課を設置するのか。

答 建設課長 課内で対応し、二人が業務にあたることになっている。

委員会として 了承しました。

産業振興課長から 補正予算と当初予算について説明がありました。

問 営農指導員は不補充のままであったが。

答 産業振興課長 適任者がいなかった。

問 「婦人の家」や「環境改善センター」などの施設を、今年から団体等に委託するのか。

答 産業振興課長 三月議会条例で制定されれば、団体に管理委託する予定である。

委員会として 三月議会に提案することを認めました。

委員会の

産業建設委員会 視察報告



町が農業公社を設立

童謡のふる里 大利根町

埼玉県大利根町は「童謡のふる里」として、さまざまな町づくりに取り組んでいます。また、首都から五十km圏に位置し都市近郊農業のほか、近年では健康食品である黒米の栽培や、加工品の製造などに取り組んでいます。平成十年には、農業の発展、活性化を目指して、道の駅「童謡のふる里おとね」内に農業創生センターを併設して、特産品の「コシヒカリ」や「イチゴ」のほか、新鮮な野菜や農作物の加工品を販売しています。また、

農業基盤安定のため農業公社を設立し、経営の近代化や生産基盤の整備を進めるとともに、新規就農者の受け入れ体制の充実をはかり、後継者の確保に努めています。

勝浦町においても「よつてネ市」を中心にして、安心・安全で生産者の顔が見える食品の提供や、産地間競争に生き残るため、農作物のブランド化の推進に取り組んでいます。後継者の育成が今後の課題です。

友好都市調印式 に出席

千葉県勝浦市で行われた市制施行四十五周年記念行事の「友好都市提携盟約調印式」に出席しました。全国勝浦ネットワークは、平成十二年から勝浦市、那智勝浦町と勝浦町が事務レベルの協議やイベントの交流などを始め、平成十三年には、本町から奇贈したひな人形を用いて「かつうらビッグひな祭り」が行われるなど、文化や人の交流が続いています。

総合型地域スポーツクラブの設置を

各種団体と協議していく(教育長)

松田 貴志 議員



ツを楽しむことができるクラブで、設立に向けては体育協会や各種団体、住民の協力が必要であり、今後、協議していきたい。

男女共同参画推進計画の重点目標は

男女共同参画社会の実現に向けて、

政策や方針を決定する過程への女性の進出や人材育成、ジェンダー(男女の差)に対する意識改革など、さまざまな取り組みが必要になる。

現在作成中の計画は何を参考にし、どのような重点目標を盛り込んでいくのか。

山平 住民課長 男女共同参画基本法



総合型地域スポーツクラブの設置を

文部科学省で策定されたスポーツ振興計画の中で、総合型地域スポーツクラブの設置が盛り込まれ、県内の他町村でも設立に向け取り組んでいる。
幼少期における体力づくりや高齢者の病気予防のほか、世代間の交流等いろいろな取り組みが可能なので、設置へ向けて取り組んでいく。

教育長 幅広い世代の住民がスポー



お父さん、おいしく作ってネ

と県の推進条例を基本に作成している。調査研究、情報提供を行い、学習の機会や啓発活動を充実させたい。

助役 職場外への研修にも積極的に参加し、企業的な経営感覚を身につけ政策立案能力に優れた人材を育てる。

また、年功序列の給与体系の見直しも含め、職員のやる気をそぐことのないように改革していく。

行政改革 人材育成と 人事制度の見直しは

地方分権が進む中、職員の意識改革や能力開発等が重要になる。

新しい行政改革推進プランの中で、人材育成と人事制度の見直しについての取り組みは。

町長 職員から信頼されていないのは、私の不徳のいたすところであり、私自身も給与を二十%カットした。痛みを分かち合ってもらい、心して頑張っていく。

合併問題

説明会は

行うのか

方向性が決まってから (町長)

上勝町との法期限内での合併が不調に終わり、町民の間では不安、不信が広がっている。

また、町長自らが出向いて、住民説明会は予定どおり行うのか。

町長 議会とも相談し、方向性が決まってから説明会に行きたい。すべての住民から意見を聞くとなると時間もかかり、それぞれの考え方も違っている。議員は住民の代表であり、議会と協議しながら法期限内合併を目指し頑張りたい。

また、今回の合併問題で職員との間に大きな溝ができたと思う。町長は職員との信頼関係をどのように修復し、行政改革に取り組むのか。

地産地消の状況は

実績が上がりつつある

(教育委員会事務局長)

森 敏治 議員



答 幸野病院事務局長
治療食で献立も違い、多品目少量仕入であり、患者の変動にも対応しなければいけないので、現在是对応できていない。今後、条件が整えば取り組んでいきたい。

問 給食センターの地産地消の状況と課題は。

答 坂井教育委員会事務局長 地元で採れた食材を使った給食を提供するため十四年度から地元米をJAから、野菜は使用量の約五割を「よつてネ市」から購入している。

問 今後、すべての食材を地元で調達できるような体制づくりが必要だ。病院給食の取り組みは。



おいしいな、楽しいな

問 行政、農協、生産者、消費者等で構成する協議会を設置してはどうか。

答 町長 地産地消は良い方向に向かっている。関係団体と会議を開くことは必要と思う。

病院の治療費納入状況は

約二十五万円滞納
(病院事務局長)

問 病院の窓口で支払われる治療費の納入状況は。

答 幸野病院事務局長 最近の三年間で三十三件、約二十五万円が滞納となっている。現在、文書、電話で督促しており、全額回収できるように努力していききたい。

どう受け止める
行政改革答申

問 第二次行政改革答申をどう受け止めているか。

答 町長 厳しい答申であるが謙虚に受け止めたい。町民、職員にも痛みを分かち合い、答申に沿って努力していきたい。

問 特別職と職員の給与と一律カットの基本的な考え方は。

答 町長 職員からいろいろな意見を聞く中で判断した。特別職については協力を依頼し一律とした。

予算編成の
目玉は

問 十六年度予算はどのような基本的考え方での編成したのか。また、その中で目玉となる事業は。

答 町長 厳しい財政状況の中、目玉的な事業はないが、福祉と農業予算はできるだけ削減を抑える一方で、町単独公共事業を五十%削減した。

合併問題

問 町長の在任期間は後二年である。上勝町との合併が不可能となり、町は正に、八方ふさがりである。どう考えているのか。

答 町長 国からの交付税が削減され、三位一体の改革が進む中、意識改革、行政改革を断行し、合意形成可能な自治体との法期限内の合併を目指したい。



治療費の納入状況は

住宅耐震化対策を

住民のニーズ調査をした上で 住民課長

井出美智子 議員



地産地消 取り組みの強化を

問 BSEや鶏インフルエンザなど、食に対する不安が広がる中、学校給食等で地元の農産物を地元で消費する「地産地消」の取り組みが重要になってきている。町

内の牛、豚、鶏、卵の生産状況はどうなのか。

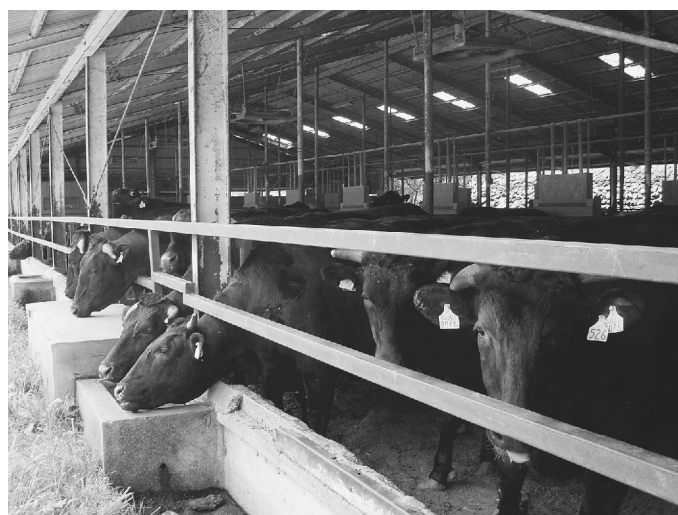
答 国清産業振興課長 昨年七月の調査では、牛十三戸、千五百五十頭。豚一戸、約二千二百頭。鶏九戸、十四万九千羽。採卵鶏六千羽である。

問 今後、畜産物についても地元産物を使用しては。

答 国清産業振興課長 給食センターでは現在、地元畜産物は使用していないので今後、検討する。

問 今世紀前半に発生する可能性が高い南海、東南海地震に備え、県が個人住宅の耐震化に向けた取り組みを始めるが、昭和五十六年の建築基準法改正前に建てられた木造住宅は何戸か。

答 山平住民課長 改正前に建てられた木造住宅は、町内に約千三百四十戸ある。県の予算がわずかしかなないので、住民のニーズ調査をした上で慎重に取り組みたい。



地元畜産物の使用を

合併問題

町長の政治責任は

問 二度も合併が破綻した事は、きちんとした合併理念を持たずに臨んだ事が原因と思う。職員をはじめ、住民のいろんな意見をきちんと聞いて判断していないから起きたことである。

答 町長 上勝町とのことは私の判断が未熟であった。今後、法期限内の合併に向けて努力していくことが大切と考えている。

問 合併は、町の将来を決める大事な問題である。その時に町長や議員の職にあるものだけで方向を決めるべきではない。町づくりを住民と語るなかで進めるべきである。今までの手法を改めてはどうか。

答 町長 アンケートなどで住民の意見は聞いている。議員は住民の代表なので議会と相談しながらやっていく。

保育所

一時預かり制度の創設を

創設を

問 昨年、仕事の都合で子どもを預けようとしたら、一週間で一カ月分の保育料が要るということであきらめたという事例があった。国や県の補助がある一時預かり制度の実施をしてはどうか。

答 光井福祉課長 現在、一時預かりについては短期支援事業や



保育所での一時預かりは

シヨートステイ事業で近隣市町の法人等と委託をしている。利用料は七日以内で一日当たり二歳児二千三百六十円。二歳以上は千八百四十円である。町で行うとなると、子どもの数が少ない上、部屋や人の配置が必要になり難しい。

今後の取り組みについては、次世代育成の支援事業の行動計画策定に向けたニーズ調査を実施することにしている。

高齢者福祉対策

出前による地域介護を

集会所で介護者教室を実施 福祉課長

森 健 議員



「みかんの郷」を建設し、一日二十人が利用している。「オレンジ荘」は平日四十人が利用、グループホーム「あゆの里」では、定員が九人で日常生活の支援が行われている。

勝浦病院に併設している通所リハビリテーション「コスモス」は一日約十五人が利用している。「みかんの郷」を除いては介護認定の申請が必要である。

問 核家族化、高齢化が一層進むことが予想される。各地にある集会所等を活用した「出前による地域介護」を実施しては。

答 光井福祉課長 現在、保健事業等で

問 高齢化社会に対応するため、各種福祉施設が作られているが、利用状況は。

答 光井福祉課長 勝浦病院を核として福祉の町づくりを推進してきた。平成四年に、特別養護老人ホーム「喜楽苑」三十床を開所、その後、二十床を増床、ショートステイ専用居室も十四床ある。

西側には生きがいデイサービスセンター「みか



1日20人が利用している「みかんの郷」



地元の同意があれば方向転換

入事業に影響がでないか心配である。地元の同意が得られるのであれば方向転換も考えられる。

合併問題

申し訳ないでは済まされない

今後合併に全力を尽くす (町長)

問 町長は、上勝町の真意を見抜けなかったばかりか、アンケート結果を重視しないなど自治体運営構想の振れが今日の行き場のない事態を招いたのではないか。

答 町長 合併の理念をどう理解しているのか。町のトップとしての資質さえ疑いたくなる。「申し訳ない」では済まされないと思う。責任をどうとるのか。

答 石尾建設課長 国の財政事情悪化により、県道のバイパス事業でも、県独自で対応するようにとの厳しい内容が示された。

今後、どういう方向で推進していくべきか、県や地元と協議をしていきたい。

答 町長 現道改良を優先するとバイパス

健康教育、健康相談、介護者教室等を実施しており、今後いろいろな角度から、支援体制を考えていきたい。

沼江バイパス

第二区と

現道改良について

問 沼江バイパス第二区は十年間、何

の進展も見られない。バ

みかん奨励品種

一品種追加しては

関係者と検討したい（産業振興課長）

福德重二議員



で、奨励品種に加えてはどうか。

答 国清産業振興課長 十四年度から町と

J A、県の普及センターが一体となった経営安定チームを設置して、三年間の計画で勝浦町に適した品種として十万と古田

温州を奨励している。今年で三年目を迎えるので、今後、そんな良い品種があるのなら、推進チームの中で検討していきたい。

鳥インフルエンザ

町の対応は

問 鳥インフルエンザ

に対して、町では防疫マニュアルを作成するなどの対応をとっているのか。

答 国清産業振興課長 国の防疫マニユア

問 現在、町が補助金を出して奨励しているみかんは十万と古田温州であるが、この二品種は二月から三月中が出荷の適期と言われている。町内の熱心なみかん農家の中に、三月から四月中旬まで出荷できる丹生系温州で実績を上げている人がある。



奨励品種に丹生系を

問 地元関係者から何回となく水害防護

県道柳原工区 その後は

ルに沿って県も対応しており、その指示に従っている。今までに町内で二軒の鶏を県家畜保健所で検査したが異常はなかった。



町内の鶏異常なし

壁の陳情や要望が出されているが、何の進展もない。県とは協議しているのか。また、今後の見通しは。

答 石尾建設課長 県

の道路と河川の管理区域が絡み合った区間であり、協議はしているが地元の承諾を得られる結果になっていない。今後、地元の要望を踏まえ県と可能な方策を模索していきたい。

地籍調査

複数地区の 着手は可能か

問 柵野地区から地籍調査に取りかかる

とのことだが、地元の協力体制が整えば複数地区の着手はできるのか。

答 石尾建設課長 受

け入れ体制の充実を十分確認した上で、地区指定を受け事業に着手することになるが、国の予算の関係もあるので複数地区の採択が制限されることもある。

結婚相談員

百組達成者に 町長表彰を

問 結婚相談員で百組の縁談をまとめる

ことが間近と思われる人がいるが、町長表彰をしてはどうか。

答 町長 感謝の気持ち

でいっぱいである。現在、定住祝い金や結婚祝い金の廃止など行財政改革の最中であり、よく精査して表彰するかどうか考えていきたい。

鳥インフルエンザ 備えは万全か

関係者には対応している（産業振興課長）

大西 一司 議員



防災対策の強化を

問 所信表明の中で、消防、防災活動の強化、自主防災組織の結成を進め広域的な取り組みをしていくとのことであるがその内容は、また消防分団全部に予

答 備隊の結成を進めては。戸川総務課長 防災無線を十六年度に実施設計し、十七年度に改修工事の予定である。自主防災組織も各地区で結成を進めていく中で、消防団員ＯＢによる予備隊が結成できるのであればお願いをしたい。

DV家庭内暴力等 対策は

対策を講じている（福祉課長）

問 最近DVが社会問題として大きくクローズアップされている。徳島児童福祉相談所の受付件数も平成十年の三倍以上となっている。本町の現状と対応は。

答 光井福祉課長 本町でもDVは数件あり対応している。平成十三年度にDV法が制定され、支援措置が講じられ児童家庭支援センターでの相談やカウンセリング、一時保護が受けられる。関係者や関係機関と連携を密にして対策を講じている。



かあちゃんも出勤中

問 鳥インフルエンザは全国に飛び火している。カラスに感染するなど野鳥にも拡大するおそれもあり、小学校、保育所や町内の愛玩鳥飼育者等にも対応する必要があるのでは。

答 国清産業振興課長 飼育者を確認して、家畜保健所から立入調査を実施し、異常がないとの回答を得た。小学校、保育所は消毒を済ませている。



消毒を済ませて安心だね

合併問題 二町合併推進の 責任は

問 上勝町と合併の勉強会を進めてきたが、三月五日、上勝町議全員の反対により法期限内合併はできないとの返事があった。二町合併を強く推進してきた町長の責任は重い。今後は町民の幸せのため、あらゆる努力をしなければならぬと思うが。

答 町長 上勝町の議員全員が反対するとは思っていなかった。見通しが甘かった点深く反省し重い責任を感じている。今後、法期限内に合意可能な自治体との合併ができるよう取り組んでいきたい。

行政改革 推進プラン

実現可能か

問 調査会の答申を受けての行政改革推進プランは合併抜きにして実現できるのか。ケーブルテレビ、公共施設の耐震構造化等高額な予算が必要だが。

答 戸川総務課長 行政改革推進プランの中で特に人件費は大幅にカットし約三千八百万円の削減を見込んでいる。ケーブルテレビ、公共施設の耐震構造化等は合併の中で考えていかないと町単独では難しい。

行政改革

課の統合は

三課程度にしたい (総務課長)

川端雅夫議員



ていくべきではないか。

答 戸川総務課長 近い将来、避けて通れない問題と考えているが、慎重に取り組んでいきたい。

問 事務の効率化と経費削減の徹底した見直しを行う中で、過去三年間の時間外手当の総額はいくらか。

答 戸川総務課長 十三年度は二千九百四十九万円、十四年度は三千四百八十万円、十四年度では二千九百十三万円である。

問 戸川総務課長 公的施設の利用者負担についても見直していきたい。

答 少子化により、保育所の幼児数や、小学校の児童数は減少の一途をたどることが予想される。統合問題も考え

問 戸川総務課長 十三年度は二千九百四十九万円、十四年度は三千四百八十万円、十四年度では二千九百十三万円である。

問 これほどの残業を必要とする要因は何か。また職員の配置は適正か。

答 戸川総務課長 十三年度は中山間直

答 接支払の関係で、補助要綱がはつきりせず、手探りの状況で、事務量が増大した。今後、課の統廃合を見きわめながら改善に向け取り組みたい。

問 助役 組織の効率化、合理化を図りながら定員管理の適正化に努め、事務経費を削減していきたい。

沼江バイパス

方向転換するのは

両方進めていく (町長)

問 町長の答弁では、「現道拡幅に方向転換をする」と受けとって良いのか。

答 町長 勝浦町の将来にとってバイパスは必要と考えているが、現道の拡幅も同時に考えていきたい。

答 石尾建設課長 県も財政事情が厳し



1万コンテナ出荷が目標

さを増す中で、今後、町にも負担が必要な見通しであり、実のある方向を選択せざるを得ない。

農業振興の

具体策は

問 勝浦みかんのブランド化、安定生産体制、高品質対策、マーケティング対策の四本柱を掲げているが、その具体策は。

答 国清産業振興課長 ブランド化では「十万・古田温州」を奨励品種としてすすめている。また、安定生産を目指す技術対策では、園地別交互結実栽培を推進

問 町単補助事業の中で、新しいメニューを作り、補助範囲を拡大していくとのことであったが、十五年度の実績は。

答 国清産業振興課長 交互結実栽培の支援対策として、フィガロン散布の補助と、いちご高設栽培のコンピュータ導入にも補助をした。

問 行政改革調査会の答申に、組織、機構の簡素化、合理化を引き続き推進せよとあるが、課の統合計画は。

答 戸川総務課長 職員数の十五%削減となると、現在ある六課と三課程度にならなくてはならない。

問 ナイターの使用など、町施設の利用者負担は、今後、どうするののか。



利用者負担も検討中

救急患者輸送 早く正常化を

町内業者の選定を急ぐ（総務課長）

西浜勝己議員



問 救急患者輸送業務が、四月一日から契約の継続ができないので小松島の業者と話をしているとのことだが、坂本地区などは三十分以上もかかり住民は不安である。次の業者が決まるまで今の業者に継続してもらえないのか。
また、町外への委託は暫定措置と考えてよいのか。

答 戸川総務課長 現在の業者をお願いしたが、四月一日以降の業務継続は難しいとのことであった。
町外業者はあくまで暫定的な措置で、一刻も早く町内の新たな業者を探すことに力を注ぎたい。

大丈夫か

消防防災対策

自主防災組織の確立が必要 （総務課長）

問 南海、東南海地震は本町で震度六弱が想定されている。国や県と歩調を合わせ計画を策定することだが、町としての具体策は。

答 戸川総務課長 勝浦町も地域指定を受けているので、推進計画を策定しなければならぬ。その中で町と区が一体となり自主防災組織を確立し訓練等も進めていきたい。
また、公共建造物の耐震診断にも取り組んでいく。

そんなに軽いものが 合併基本方針

残念な結果になり 申し訳ない（町長）

問 上勝町との合併に向け、両町長の「合併基本方針」が出され、それを基に両町職員による勉強会を行ってきた。しかし、三月五日に上勝町長から、法期限内合併は難しいとの回答があった。基本方針とはそんなに軽いものか。

答 町長 精神的に張り組んできたが残念な結果になり、申し訳なく責任を感じている。残された時間は少ないが法期限内合併を目指し、可能な限り努力したい。



地籍調査 棚野地区18haを予定

問 合併は各自自治体の自主判断だが、今回の問題で上勝町との信頼関係は保てるのか。
また、助役は職員の状況を把握し、町長に意見具申するなど補佐役としての職務を全うしたのか。

答 町長 現時点では大変不信を抱いているが、信頼関係まで失いたくはない。
助役 住民アンケートや職員は広域

答 町長 精神的に張り組んできたが残念な結果になり、申し訳なく責任を感じている。残された時間は少ないが法期限内合併を目指し、可能な限り努力したい。

地籍調査 初年度の作業は 十八haを予定 （建設課長）

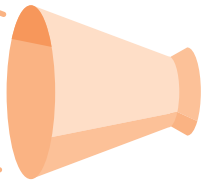
問 初年度はどの程度の作業に取り組めるのか。また、いつ地元説明会を開くのか。

答 石尾建設課長 棚野地区の十八haを予定している。説明会は九月以降になる。

答 町長 法期限内合併に向け努力するのが私の務めだ。行政報告の形で説明会を行えるようにしたい。

合併を望んでいたが、町長に理解してもらえないような適切な助言ができず、職責を十分に果たせなかったと反省している。法期限内合併を目指し、残された時間最大限の努力をしたい。
問 今後は、吸収合併か町単独の二つの選択肢しかない。住民説明会が必要だが、こんな状況で住民が集まってくれると思うか。
答 町長 法期限内合併に向け努力するのが私の務めだ。行政報告の形で説明会を行えるようにしたい。

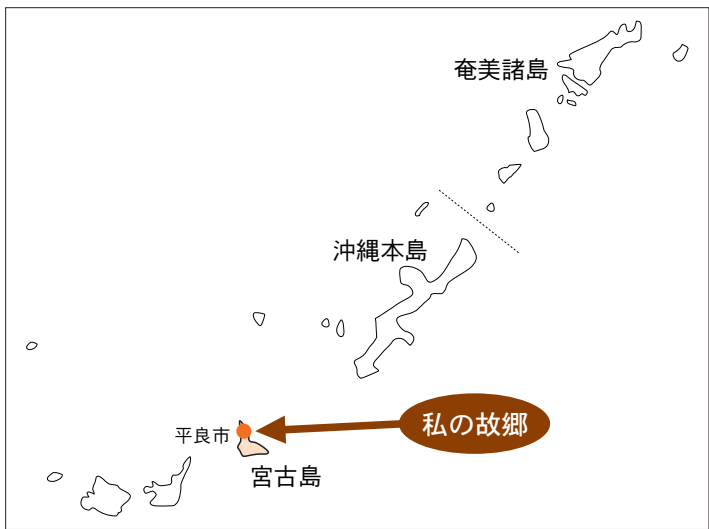
声のひろば



鴻本照代 さん
(沖縄県宮古島出身)

ハイサイ みなさん

- Q** 故郷はどんなところですか。
A 沖縄本島の南西三百kmに位置する宮古島の平良市出身です。宮古島のトライアスロンは全国的に有名です。
- Q** 勝浦町に住むことになったきっかけは。
A 徳島の看護学校へ入学してから主人と知り合い、結婚して十五年になります。
- Q** どんなお仕事ですか。
A 老人福祉施設の看護師をしています。



- Q** 家族構成は。
A 主人と子ども二人、ほかにネコ一匹の家族です。
- Q** 勝浦町の印象は。
A 青い海と自然がいっぱいの常夏の島に育った私にとって、山や川のある風景は新鮮で美しく、四季折々の変化にとても感動しています。

- Q** 食生活の違いは。
A 口に入れる勇気がなかった。寿司を、今では誰よりも多く食べています。最近沖縄の有名なゴーヤ(にがうり)を町内の人も栽培し、ゴーヤチャップルファンが増えてきたことに食文化の交流を感じてうれしく思います。



- Q** 趣味は。
A すもうなどのスポーツ観戦と、空手を習っています。
- Q** どんな町になれたいと思いますか。
A 生き生きとした町づくりを町民みんなで考え実現できれば……。そのためにみんなが興味を持って、オープンな町政運営をしてほしいと思います。

編集後記

先日、上勝町を震源とする地震がありました。三月議会の一般質問においても、南海、東南海地震対策として、住宅の耐震診断や消防、防災体制の強化など、活発な議論が展開されました。阪神大震災から十年近くが過ぎ、防災意識が薄らいできている今、もう一度、家具の転倒防止や防災袋の点検、避難する場所、経路などを確認しては。

合併に向け勉強会を重ねていた上勝町から、法期限内合併はできないとの連絡がありました。本町の財政も「火の車」であり新しい行政改革プランを示し、厳しい財政状況に対応できるよう取り組んでいます。「備えあれば憂いなし」不測の事態に対し準備しておくことも必要ではないでしょうか。
(貴)



